

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎地域福祉の経費

社会福祉協議会支援事業

福祉政策課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉市社会福祉協議会

意図 地域福祉活動推進の要として、中心的役割を担う社会福祉協議会への助成を行うため。

効果 事業補助を行うことにより社会福祉協議会の財政基盤を安定させる。

【事業の内容】

(1) 社会福祉協議会支援事業

- ・社会福祉法の規定により地域福祉の推進を図る団体として組織されている社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会に補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
67,113	67,113	63,822		3,291

主な支出内訳

・社会福祉協議会支援事業

鎌倉市社会福祉協議会補助金

63,822

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-03 社会福祉協議会支援事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	0006 社会福祉協議会支援事業					
主管課	福祉政策課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	社会福祉協議会が適切に運営できるように支援していく。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	63,822千円	60,071千円	57,036千円			
	(国・県)	0千円	0千円	0千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	63,822千円	60,071千円	57,036千円			
	人員配置数	0.5人	0.5人	0.5人			
	人件費	4,597千円	4,603千円	4,564千円			
協働の パートナー	無	無	無				
事務事業 運営経費	総事業費	68,419千円	64,674千円	61,600千円			
	市民1人当 りの経費	388円	368円	352円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 社会福祉協議会は、行政からの支援に頼ることなく運営できることが望ましく、自主財源確保が課題となっている。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 社会福祉協議会の自主財源の確保に向けた話し合いを続けた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 地域福祉の推進など、社会福祉協議会の果たすべき役割は、増大していくため、事業を自主財源で行うことは、難しいが、事業の見直しを行うなど効率的な運営を行う努力が必要である。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 社会福祉協議会が、より効率的な運営ができるよう側面から支援を続ける。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
	現状のまま継続していく。				無
担当課長氏名:		福祉政策課長 山本 賢次			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
	現状のまま継続していく。				無
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子		